

学校Q & A事例等について

- 学校プールの対策について：大阪府薬剤師会ホームページ
日本プールアメニティー協会ホームページ
四国化成ホームページ
*藻の発生対策など（藻も緑ではなくピンク色のケースがあり問い合わせあり）
- 虫よけ剤の問い合わせ。
*年齢により使用できない薬剤あり。（別紙1）
- 首からさげるタイプの除菌用品の安全性（国民生活センターHP 記載）（有効性否定的）
- コロナウイルス感染対策：大阪府薬剤師会ホームページ
- 熱中症対策：気温、水分摂取など。
- カフェイン、電子タバコについて（お薬教室のときの質問）
大阪府薬剤師会 HP にパワーポイント掲載
- ゲーム、ネット依存などの対策
（香川県 HP に資料あり、R4.8）
- 食物アレルギー（エピペン等）：アレルギーポータル（厚生労働省）→アレルギーの本棚

学校薬剤師 相談対応報告書

Q1.プール水質検査の結果：残留塩素、一般細菌の測定値に異常値がでた（6/20）

どのように対処したらいいか。

A1.残留塩素はプールの授業前の測定結果は異常なしの確認済み。原因は児童塩素注入装置の目詰まりと判明した。一般細菌の増加は塩素の投入が十分されていなかった為と判断。日光の照射や水中の汚濁物資により塩素消費されるので消失を念頭におき残留塩素濃度の管理を十分注意するように指示しました。

二次試験検査結果は良好となりました。（6/27） (H28.7.4)

Q2.1年生にシロナマズ（尋常性白斑）の生徒がおり、プールの際日焼け止めを使用するよいか。

A2.学校プールにおいて日焼け止め使用については基本的に使用禁止です。

（水質汚染となるため）学校のQ&Aより学校の状況に応じて対応と記載あり。

白斑の方にはサンスクリーンクリームの使用をすすめているということから今回に関しては使用して良いと思いますと回答。（資料持参し先生に直接説明）（H29.4）

Q 3.小学校家庭科準備室の水質検査依頼あり（夏休み明けに臭いあり、塩素臭ではない）

A 3 水質検査、家庭科室 0.3ppm 準備室 0.1ppm 以下 無色。

準備室の方がかすかに若干苦みを感じた。

学校には準備室の水道水は生水で飲用しないように伝えた。（H30.11）

Q4.遊泳中に児童がプール内で嘔吐した。

嘔吐物は取り除いたがその後どう対処すればよいか。

A4.スーパークロリネーションを実施して下さい。

遊離残留塩素を、2 mg/l位になるようネオクロールをいれてから循環させ10時間位おいておく。オーバーフローの状態にして遊泳開始時、塩素濃度が0.4～1.0 mg/lの範囲に、またPHは中性付近（6.5～7.5）であることを確認しておく。

（四国化成：試薬メーカーにも電話確認済み、HPにQ&Aあり）（R1.7）

Q5.新型コロナウイルスの感染が続いている時期の教室の換気について

10月になり授業中窓を開けていると、窓側の児童が寒くて仕方ないと言っている。授業中窓を閉めてよいかどうか教えてほしい。休み時間は全部の窓を開けて廊下側の窓もあけている。

A5. 換気が一番大切である。

対角線上に常時窓を開けるようにして、空気の流れを作る。

天窓は開けておく。

可能なら扇風機を回して空気の入れ換えに用いる。

授業中1回は2～3分間でも窓を全開にする。

寒さを訴える児童には1枚多い目に防寒着を用意するよう保護者にも連絡する。

できる限りのことをしてコロナ感染予防をする。(R2.10)

Q6. 小学校4階1番東側と西側の教室がクーラーをつけているのに30度を超えている。

対策はありますか。

A6. ドアをしめて教室の上の窓4隅の窓だけあけ扇風機の角度など指導。

後、屋上に水を散布など提案

設定温度20度と確認。(クーラーの問題もあるのかも)

Q7. 無光触媒(リン酸チタニア化合物)の寄付についてどのようにしようすれば良いか?

A7. 塗布することで消臭作用、抗菌作用を生じるので生徒のいるとき使用するは避けてもらうよう説明する。

*リン酸チタニア化合物とは：脱水縮合することで、イオンを溶出しやすいH₂O₂のような表面を形成します。イオンは酸素と乖離して生じるので不安定な状態にあり、安定するために悪臭ガスの酸素と直接化学反応し、酸性とアルカリ性の中和反応や参加反応する事で無臭化します。または安定するために細菌の酸素と化学結合しようとし細菌の核に浸透し分裂を阻止します。細菌は細胞分裂ができず、タンパク合成の阻害を起こし死滅すると考えられます。

そのためコーティング剤として使用されます。(座席、机などに使用)